

Dr.岡田の

南極物語

第 8 話：南極で露天風呂！？



南極昭和基地では冬、太陽が昇らない極夜(きょくや)という時期があります。気温はマイナス 40℃前後まで下がり、外に出ること自体危険を伴うことから、屋内での活動が中心になります。僕が参加した 51 次隊では極夜期に外へ出られないストレスを晴らすべく『露天風呂に入ろう！』計画を立て、自分達で露天風呂を作り上げました。気温マイナス 35℃、顔や髪の毛は瞬間に凍ってしまうという極寒の中、壮大な南極大陸を眺めながら入る露天風呂はこの上ない贅沢な癒しの時間になりました。ちなみに風呂から出て服を着るまでに体が凍って(冷え切って)しまうため、基地内のお風呂に入り直さないといけないというおまけつきでした。



露天風呂設置作業中…



みんなで仲良く



凍った顔

『重要なお知らせ』

以前より、患者様からご要望が多かった、【医療費の口座引き落とし】ですが、現在準備をすすめており、5月頃に運用を開始する予定です。
準備が出来次第、正式なご案内をさせていただきます。

医療法人つばさ つばさクリニック

診療科目 訪問診療 内科 循環器科 呼吸器科 整形外科
診療曜日 月曜日～金曜日 休診日 土・日曜日 祝祭日
定期訪問 午前9時～午後5時 電話 086-424-0283
住所 倉敷市大島534-1

つばさ新聞



日毎に暖かくなり、すっかり春らしい陽気になりました。ただ、朝晩の冷え込みはまだまだ続きそうです。ぜひ体調管理には気を付けてください。

さて、当院ではこの春で開業から6年目を迎える事になりました。これも地域の患者様、医療・介護職の皆様のご支援の賜物だと感じております。本当に有難うございました。6年目を迎えるに当たり、以前より『何とかしたい』と考えておりました、小児在宅の分野にも対応できる訪問診療クリニックを岡山市内で開業致します。正式な案内等はいずれさせていただきますが、その際にも倉敷と同様に、ぜひ地域の医療・介護職の皆様のご支援を頂戴できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(院長 中村 幸伸)

光岡Nsの

ひとことアドバイス



日中の気温も上がり春らしくなってきました。お体の具合はいかがでしょう？！
さて、3月になると、既に植物達は『春』の準備をすすめています。皆様、花粉症対策はお済でしょうか？！花粉症などのアレルギーの病気は、自律神経(リラックスと興奮の調節神経)のバランスが崩れたときに症状が悪化します。ストレスを避け、十分な睡眠をとることで、自律神経のバランスを整えるようにしましょう。

ちなみに、「笑い」が自律神経のバランスを整えてくれるそうですよ(^^)

クリニックの日常



今回は、クリニックの朝の様子を紹介します。

看護師さんらは出勤と同時に、当日に診療予定の患者さん一人ひとりに必要な物品や診療道具など（点滴、注射の薬剤、内視鏡、エコーなど）の用意をおこないます。忘れ物が無いように、念入りに…。

全体朝礼（8:30～）で当日の訪問スケジュールの確認を行います。そのあと、部門ごとでカンファレンス（会議）をおこないます。医師や看護師らは、主に患者さんの療養に関する情報交換を行い、ドライバーさんは交通状況の確認や飲酒していないか！？などの確認を行います。

チームで診療するので、一日の中で一番大事な時間なのです…。



いってきま～す！

思い出エピソード vol.1



この晩秋、担当させていただいている施設で心に残る別れの場面に遭遇した。

患者様は101歳の女性、夏から徐々に体力が衰え、食事も儘ならなくなった。息子さんは70歳代後半の方。別れの時は静かに二人に訪れた。旅立とうとする母親の手をさすりながら、『お母さんありがとね、戦後の物のない時に僕たちを一生懸命育ててくれて…。』『ありがとね、ありがとね。』と何度も感謝の言葉を述べられた。

暖かさに包まれた自然な別れの時間だった。僕も思わず胸が熱くなった。



井戸 茂樹（イド シゲキ）

趣味：釣り、音楽（歌う事、ギター、サックス）

出身は広島県ですが、医師になったの28年間は和歌山県で過ごしました。永らく小児を専門として診療してきましたが、ここ5年余り高齢者を中心とした在宅医療に力を注いでいます。

スタッフ紹介



今回は医療ソーシャルワーカーの『中島ゆか』さんです

医療ソーシャルワーカー（MSW）の中島ゆか（ナカシマユカ）と申します。

つばさクリニックに4月に入社してはや一年が経とうとしています。この一年間は、慣れないながらも、新規の患者さんの受付から初診までの調整、カンファレンスの調整を主にしてきました。新規の患者さんの調整については、入院中で退院後の通院が困難だったり、自宅療養中で今まで通院していたが難しくなってきたりした際に、病院のMSWさんやケアマネージャーさんを通して当院に依頼・相談の電話がかかってくる。時には、患者さんやご家族さんから直接お電話を頂くこともあります。日々の仕事としてそれらの方々の話を聞き、初診までの調整（準備）をしていきます。

当院に相談してこられるMSWさんやケアマネージャーさんにとっては、私が最初の窓口であり、患者さんの意向をこれからの主治医に伝える架け橋のような仕事でもあります。（良い架け橋になれるよう日々の仕事に取り組んでいます。）

個人的な事ですが、つばさクリニックに入社する前はヘルパーやケアマネージャーをしていたので今より患者さんの生活に近い環境にいました。医療環境の中で働くのは今回が初めてです。福祉と医療ってすぐ隣にあって関係の深いものだと思いますが、物事の考え方やアプローチの仕方が微妙に違っているので、ご家族やケアマネージャーさんと話す時はその生活や福祉目線の情報を医療に繋げられるようにうまく変換して、医師や看護師に伝えたいと考えながら取り組んでいます。

そしてMSWとして、患者さんのこれまで受けてきた医療が途切れること無く、在宅でも必要な医療が受けられるよう、そして何よりも大事な、その患者さんの思いをしっかりと聞き、つばさの訪問診療に繋げていけるよう調整していきたいと考えています。小児から高齢者まで様々な状況が話題になるためまだまだ馴染みのないことも多いですが早く慣れてよい調整役になりたいと思っています。よろしくお願いいたします。

最後に、長年の夢だった結婚を年内にします。4月から『井上ゆか』となります。公私共に頑張ります。

